

製品名: PAX5 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21304**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:42kD;Observed MW:42kD

抗原情報

遺伝子名	PAX5
別名	Paired box protein Pax-5 (B-cell-specific transcription factor) (BSAP)
遺伝子 ID	5079.0
SwissProt ID	Q02548
免疫原	ヒト PAX5 の合成ペプチド

背景

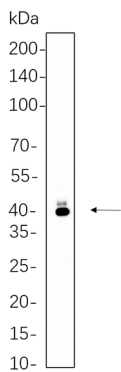
細胞局在: 核。この遺伝子によってコードされる酵素は、チロシンからメラニンへの変換における最初の 2 段階と、少なくともその

後の1段階を触媒する。この酵素はチロシン水酸化酵素とドーパ酸化酵素の両方の触媒活性を持ち、機能には銅を必要とする。この遺伝子の変異は眼皮膚白皮症を引き起こし、非病理的な多型は皮膚の色素沈着の変異を引き起こす。ヒトゲノムには、この遺伝子の3'末端側に類似した偽遺伝子が存在する。[RefSeq 提供、2008年10月]

研究分野

-

画像データ



Ramos 細胞ライセートを4~20% SDS-PAGE で分離し、膜をPAX5 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットニングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。